

愛道

あいどう

トピックス

職員誕生の軌跡

第 **110** 号

2013年1月1日発行

新年のごあいさつ



足羽福祉会 理事長
高村 昌裕



新年あけましておめでと
うございます。

昨年は皆様のおかげを
もちまして1年3ヶ月にわ
たる愛全園の増改築工事
が無事完了しました。第二
期工事では短期入所を増
床し、在宅介護の支援体制
を強化しました。また法人
内託児所を併設し、職員が
安心して仕事を継続でき
る環境整備にも取り組み
ました。

さて本年4月から「障害
者総合支援法」が施行とな
りますが、ここ10年間で障
害福祉の法律・制度は4回
もの変更があり、現場では
多大な労力が割かれていま
す。しかしながら、その方向
性は一貫して「集団から個
の支援へ」「施設生活から
地域生活の支援へ」と進め
られています。

この制度変革の流れは
世界の障害者福祉や国の
高齢者福祉施策の潮流と
も一致しており、その中で
私たち職員に求められる
専門性も変化しています。
障害特性を理解したうえ
での「個に対する」支援の
専門性はもちろんのこと、
一人ひとりの意思決定をど
う支えるか、生活に対する
願いや希望をどう叶える
かという支援では「個」と
地域社会や望ましい環境
を「つなげる」専門性が必
要となってきたのです。
つながりをどのように見出
し、育んでいくのか、私た
ちは感性を磨いていかねば
なりません。

そういつたことを考えてい
た折に「地域で30年間、開催
されてきた足羽川マラソン
が幕を閉じることになる。
なんとか運営を引き継ぐこ
とはできないだろうか」と
いう話をいただきました。



第30回足羽川マラソン
利用者の方と伴走ボランティア

この大会は、親子向けの
コース設定があったり、皆
さんに温かい「ぜんざい」が
配られたりするなど、とて
もアットホームな運営であっ
たので、足羽ワークセンター
や足羽学園の利用者の方
もたくさん参加されていま
したし、大会終了を惜しむ
声が多くあることも伺い
ました。

マラソン大会には、若者
男女の幅広い世代の人たち
が一緒に楽しめるという特
徴があります。そこに障害
のあるなしは関係ありませ
ん。また走者同士、伴走、沿
道での応援、ボランティア
など、さまざまな出会い、
つながりが生まれる場にも
なります。

このような地域の場づく
りを担い、発展させていく
ことは、当法人が目指す「赤
ちゃんからお年寄りまでが
安心して暮らせる共生社会
の実現」につながるものと
判断し「足羽川ふれあいマ
ラソン」として運営継承を
申し出ました。

新たな挑戦になりますが、
たくさんの方々が「共に」笑
顔でふれあえる場となるよ
う、一歩一歩取り組んでま
います。

本年も何とぞ皆様のご
理解、ご支援をお願いいた
します。

新年の 抱負

いちごいちえ 「一期一会」

今の私があるのはすべての出会いのおかげ。
特に、永い保育園生活で出会った子どもたちは、
かけがえない私の宝物です。
すべての皆様に感謝しながら、今年も幸せな気持ちで
一年をスタートします。

足羽東保育園 園長 矢納 ともえ

しんかそうぞう 「進化創造」 更なる高みへの挑戦

組織変革や意識改革(何気ない日常で、職員が
行動を積み重ね)を進め、苑の継続発展をめざす。

足羽利生苑 苑長 岩本 昌雄

足羽
福祉会



二〇一三年
各施設長より

せきしょういだい 「積小為大」

目の前の小さなことからコツコツと!!

足羽学園・足羽更生園 園長 高村 昌裕

ほんじてつてい 「凡事徹底」

人のお世話をする私たちだからこそ、
あたりまえの大切さ・重要さを
常に心がける必要がある。

愛全園 園長 滝波 正興

じはんじんこ 「自反尽己」

事に対して、相手のせいにするのではなく、
宇宙の偉大なる存在より、
自分に向けての恩寵的試練と受けとめ、
全力を注いで対処していく。

足羽ワークセンター 所長 大館 嘉昭

目次 もくじ

- 2 新年のごあいさつ
- 4 毎日を生きいきと … 足羽利生苑
- 6 社会人への階段 … 足羽ワークセンター
- 8 スポーツとコミュニケーションの場 … 足羽学園
- 10 職員誕生の軌跡
- 12 みんなの広場
- 14 愛のささえ



「表紙について」

「あの雲に乗ってみたいですね〜♪」
職員と利用者の方の、ほのほのとした
会話を心が和みますね。

(足羽利生苑 前田)



毎日を生きいきと

あなたが幼いころ、よく遊んだことや好きだったことはなんですか？
きっとそれは、いくつになっても色あせることのないものだと思います。
足羽利生苑デイサービスセンターでは、利用者の方がいつまでも生きいきと
過ごしていただくために、いろいろな取り組みを始めました。

**何か楽しいこと
できないかな**

足羽利生苑デイサービスセンターでは午後の時間を使い、体操や調理などいろいろな活動を提供しています。しかし今までは、一つの活動を全員に提供していました。それにより、参加されない方はテレビ観賞などで時間を過ごし、参加されている方も活動の選択肢がないことで、本当に意欲をもって過ごされているのかと疑問に思うことがありました。

そこで、利用者の方が意欲をもてるような活動を複数用意し、選択し参加していただければ、楽しみを感じながら過ごしていただけるのではないかと考えました。そして、それは在宅生活も意欲をもって過ごしていただけるきっかけになるのではと考えました。

**いろいろなこと
教えてください**

利用者の方が取り組みやすい活動内容にするために、質問票を作り

【昔していた仕事、子どものころの遊び、好きなこと、今やってみたいこと】
を教えていただきました。そして、手軽にできる活動は何か、どのように進めていくかを話し合いました。その結果、少人数で行う『クラブ活動』を1日に1クラブ用意し、集団でゲームなどをするか、クラブ活動に参加するかを選択していただくことにしました。また集団活動の一つとして、昔懐かしい道具を使った『昔遊び』を取り入れることにしました。



クラブ活動 スタート!



裁縫ではエプロンや巾着作り、編み物では食器洗いに使う物を作っています。利用者の方はとても器用で、細かい作業も丁寧に仕上げていきます。

「和裁が好きやで着物もよく作ったんやぞ」「冬になると靴下編むんや」など、いろいろなお話をしてくださいます。また、できあがった作品はデイサービスの機能訓練室に展示しています。

手芸クラブ
～裁縫・編み物など～



男性に人気のテーブルクラブ。最初は利用者の方と職員のみだったが、次第に興味をもたれる方が増え、今は楽しみながらさわれています。また、相手に持ち札を見られないように、職員がお手製の札置きを作りました。今まで活動に参加することが少なかった利用者の方も、笑顔で参加されています。

テーブルクラブ
～囲碁・花札など～



チラシを使ってとても器用に紙飛行機を作る男性Hさん。作り方を利用者の方に丁寧に教えてくださり、先生のような存在です。

Hさんは体操はあまり好きではなく、横になって過ごされるが多かったのですが、今は時間を見つけては紙飛行機を作り、皆さんと一緒に飛ばして楽しんでいます。

工作クラブ
～紙飛行機づくり～

子どものころを思い出して

けん玉、めんこ、竹トンボ、おはじき：昔の遊び道具を利用者の方と一緒に買いに行き、活動に取り入れてみました。

「いいか、パッシン(めんこ)はこうするんや」「おはじきか。懐かしいの～」というんな声が聞こえてきます。利用者の方は童心にもどり、目を輝かせて夢中で楽しんでいます。

活動にほとんど参加されない方に「めんこのやり方を教えていただけますか」と声をかけたところ、皆さんと一緒に力強くめんこを打ちつけていました。馴染みのある、取り組みやすい内容だからこそ、笑顔で参加してくださったのだと感じました。

利用者の方が先生となり、子ども時代を思い出しながら、にぎやかに過ごされています。



近年、デイサービスセンターでは日常生活の介助だけでなく、利用者の方の意欲向上の役割も求められるようになってきました。

今回活動を工夫したことで、これまでより、いつも利用者の方の会話や笑顔が増えたように思います。その生きいきとした姿に、職員もやりがいや喜びを感じています。

いつまでも生きがいを持ち、お元気に楽しく過ごしていただきたいと願っています。

足羽利生苑
デイサービスセンター
主任 南部 芳美

社会人への階段

今回は、足羽ワークセン

ター第1事業所の事業の二つ

自立訓練(生活訓練)事業に

ついてご紹介します。(※)

現在、自立訓練(生活訓

練)事業所を利用されている

方は10名おられ、そのほとん

どが平成22・23年度に養護

学校を卒業された方です。

※自立訓練(生活訓練)事業

とは社会に出る前の準備期

間として身の回りのことか

ら社会で必要なあいさつ・

買い物・就労等の訓練を行う

ことを目的とした事業のこ

とです。

【普段の活動】

プラスチック容器などの1

00均商材の梱包・ラベル貼

りの作業を行っています。

【週末の活動】

創作活動、軽運動、買い物

学習・地域交流への参加など

を行っています。

★スタート

(加藤支援員)

自立訓練(生活訓練)事業

所「かがやき」の担当になった

私は、不安と緊張でいっぱい

でした。新しい利用者の方、

新しい活動場所ということ

もあり「どうしたらよいの

か？」と考えることばかりで

した。まるで、険しい階段の

前に立っているような気持ち

でした。

しかし、前向きな気持ちで

考えるうちに「こんなことを

してみても？」とアイデア

がどんどん湧いてきました。

また、上司・同僚と相談を重

ねるうちに、失敗してもみんな

ながフォローしてくれるとい

うことに気づき、思いつきり

やってみようと思いました。

少しでも社会に出て役立つ

ことを身につけてほしいと思

います。

♡のぼり始めた階段

(横居支援員)

まず、最初に取り組んだ

ことは朝礼を行うことで

す。あいさつすることから1

日が始まること、今日一日、

自分が何をするのかを理解

して行動できるように取り

組みました。

次に朝礼、掃除、食事準

備、ゴミ捨てなどは当番とい

う仕組みを取り入れました。

各自の役割を自覚し、作業

以外のことも分担すること、

困ったときは協力しながら



集中して作業、
ときには笑顔もあり。



進めることを身につけ、作業
でもそれが活かせるように
支援に取り組みました。

◆成長の階段

(柳沢支援員)

半年以上が経ち、利用者の

方の成長が目に見えてきま

した。半年前は、戸惑いなが



朝礼 全員で園訓唱和



らの作業で、一つのことが終わっても黙って待っている、わからないことがあっても聞けないというように非常に受身的な姿勢でした。それが現在では、自分の作業が終わると報告に来てくださるようになり「次は何をしますか」「これはどうしたらいいですか」と積極的に声をかけてくださいます。そして、作業に対する真剣な眼差し、集中力はとても素晴らしいです。

仕事ができることはもちろんですが、仕事の前に大人としてのあいさつや礼儀が大切であり、職場で必要になる報告・連絡・相談を大切にし、できるようになってほしいです。

そして自分には役割があり、自分の役割を行わなければ、職場のみんなが困ることを理解してほしいと思います。

報告



連絡



相談



☆今、そして将来の夢

今の気持ちと将来の夢について利用者の方に話を聞きました。

ここには友だちがいるので楽しいです。学校の同級生もいますが、ここで友だちになれた人もたくさんいます。作業に集中していたり、まわりの人たちと話していたりすると一日が早く感じます。ここは作業だけでなく、楽しい時間がいっぱいあるので好きです。

(Aさん 男性)

私の夢は、郵便局で事務の仕事をする事です。郵便局で働く人の姿をみて、いつか私も郵便局で働きたいと思うようになりました。

(Tさん 女性)

ぼくは、料理屋さんで働きたいです。料理を作ってみたいし、板前さんの姿がカッコいいなと思うからです。

(Sさん 男性)



自分たちが作業した商品が売られている所を見学してきました。


これから、皆さんが社会に出て活躍する姿を思い描きながら、今は将来への可能性がより広がるように支援をしていきます。

(職員一同)

スポーツとコミュニケーションの場

<福井市障害者スポーツ教室>

- 日時:原則毎月第2日曜日に開催
13時30分～15時30分
- 場所:福井市ちもり体育館
(旧至民中学校体育館)
- 対象者:福井市に住んでいる、または
勤めている障害のある方
(付き添い可)
- 内容:毎回2種類のニュースポーツ
などを参加者みんなで行う
(例)フライングディスク、卓球パレー、
カローリングなど



足羽学園では、1年を通してさまざまな社会参加活動を行っています。少人数のグループで、公園や福井市子ども歴史文化館などの公共の施設に出かけています。その中の一つに、障害者スポーツ教室への参加があります。

それは平成24年6月30日のこと。初めて参加する障害者スポーツ教室。ニュースポーツって一体どんなことをするのだろうか？知らない人がたくさん来るのかな？参加される利用者の方は、心の中に不安な気持ちを抱えての参加となりました。

ドキドキの初参加

ました。利用者の方はその笑顔でやや緊張がほぐれたようでした。その一方で、初めての場所、初めての人とのかわりということ、出入口付近で様子をうかがっている利用者の方もおられました。

しかし、どの利用者の方も、職員のちよつとした声かけや付き添いでニュースポーツを楽しんでおり、次第に笑顔になつていきました。

回数を重ねて…

毎月参加していることで、スタッフの方に名前を覚えてもらえ「○○さん、元気やった?」「今日はこんなことするよ」と声をかけていただけのようになりました。利用者の方も不安な気持ちよりも、楽しみな気持ちの方が大きくなってきているようです。

しかし、どのように行うのか、1回の説明では理解が難

しいスポーツだと、やる気もなくしたり、思うようにできないことに対してイライラしたりする様子も見られています。

それでもスタッフの方が横に付き添って丁寧に説明してくださるので、利用者の方も安心して参加されています。そして参加する度に、充実した表情をして学園に帰って来られるのがとても印象的です。



毎回行う、全体での顔合わせです。



卓球バレーをしました。楽しかったです。また行きたいです。

谷口 友也

初めて行ったときはどんなことをするのかワクワクしました。案外楽しいんだなって思いました。たまに一緒にスポーツをすることがあるから嫌だなんて思うこともあります。

でも楽しみなのでまた行きたいです。

岩佐 清美



最初はどんなことをやるのかなと思っていました。でも何回もスポーツ教室に行くうちに、どんどん慣れてきました。それに、そんなに大変なスポーツではないので安心です。

松本 樹稀



利用者の方の「運動がしたい」「体育館で思いきり体を動かしたい」との思いをどうしたら叶えられるか、と思っていたところ、福井市の市政だよりを見ました。担当課に問い合わせをしたところ、親切に競技内容を説明してくださいました。

会場ではいろいろな人とかかわりを持ち「上手になったね」など言われ、休憩時間も惜しんでスポーツに取り組んでいます。

毎月、利用者の方が翌月の活動を待っている様子を見てみると、参加できてよかったという気持ちでいっぱいです。どの利用者の方も足羽学園以外の人とのコミュニケーションがとれ、いきいきされています。

足羽学園 主任 瀧波克代

職員誕生の軌跡

足羽福祉会へ就職を希望される方の採用スケジュールをご案内します。詳しくは下記QRコードにアクセス。求人最新情報につながります。



1 会社説明会参加 ↓ 履歴書送付

2012年12月スタート

年間20回を超える社内外の会社説明会。

中でも法人内で開催される3回の会社説明会では、先輩職員からの体験談の発表があり、福祉施設の日常を知ることができる大変貴重です。

職員の熱の入った説明に共感する参加者が多く、働く意義やイメージを思い描くことができると好評です。

なお、社内説明会の参加は事前予約制です。



参加者が50名を超える会社説明会



足羽福祉会オリジナルDVDも同時上映



体験談発表(愛全園職員 藤原行順)

2 一次選考(書類選考) ↓ 施設体験実習

2013年3月

履歴書による書類選考(二次選考)を通過した方のみが、希望施設における1日体験実習へとコマを進めることができます。

自身の適性を見極めるうえで、その体験は短い時間ながらも得難いものです。

そこで得られた気づきは決して少なくはなく、参加者からは「視野が広がった」「サービスの本質を見た」「新しい目的・目標ができた」など、感謝の意見が多く寄せられています。



保育(足羽東保育園職員 持田里世)



生活支援(足羽更生園職員 五島健一)



介護支援(愛全園職員 金崎由美)

就活のためのQ&A 〜人事担当者の声〜



法人本部事務局
中央/大間憲之(事務局長)
左/蟻塚光男(同課長)
右/江守正行(同事務員)

Q1 今、どんな人材が求められていますか?
A1 「目配り」「気配り」「心配り」ができる「人として当たり前」のことを一生懸命にできる(凡事徹底)「人間力豊かな人」です。

Q2 学生のときやっておくとよいことは何ですか?
A2 6施設とも年中行事や交流が盛んです。そんなとき、スポーツや音楽、旅行などの経験が企画に反映されたり、利用者の方とふれあう際の助けになったりします。

Q3 どんな施設づくりを目指していますか?
A3 利用者の方が「満足するサービス」はもちろんのこと、「感動するサービス」の提供を目指します。そのためにも、職員には「利用者の方に寄り添うこと」「チームで支えること」を基本にすえた、人材育成の研修を、経験や職種に応じて数多く開催しています。

3

二次選考(作文・個人面接) ↓ 内定

4

内定者懇談会

例年12月に、内定者の採用までの不安の解消と親睦を目的とした内定者懇談会が催されます。

懇談会では、時間の経過と共に、職員風土である「結束力」が内定者のあちらこちらから芽生え、高らかな笑い声の中、メールアドレスの交換など、同期会発足のスタートにつながっています。



ビジネスゲーム



パフォーマンス・クイズ



立食パーティー

2013年12月

5

職員誕生 ↓ 新任職員研修

採用が決まると、入社前研修があります。

社会人として必須のマナーを修得するための「接遇研修」を皮切りに、命の尊さを知る「救命救急研修」「感染防止研修」他にも「チーム力育成研修」などの多彩な研修プログラムが用意されています。

研修終了時には、各人が夢と希望に満ちた想いを奮い立たせた「決意表明」があり、その気持ちを大切にしながら、配属先施設に向かいます。



AED研修



チームワーク



電話の対応

2014年4月

ここがすごい！

先輩職員の声

共に生きる喜び



足羽学園
2007年採用
保育士 野坂 郁江

経験豊かな上司、先輩、そして利用者の方と共にさまざまなことを学び、成長できるこの環境で一緒に働きましょう。

強い絆とあふれる笑顔



足羽ワークセンター
2010年採用
支援員 長田 真紀

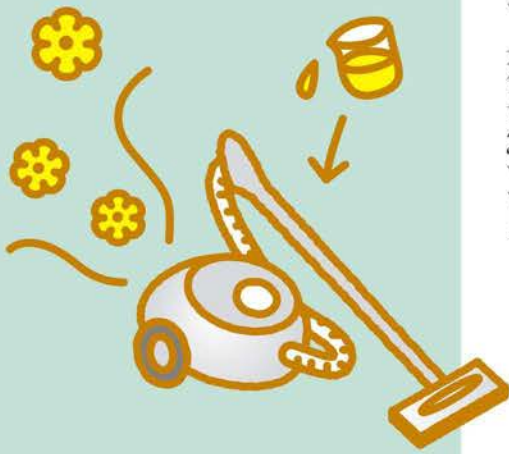
職場の雰囲気が高く、職員同士連携して業務に取り組むことができ、毎日を笑顔で明るく利用者の方とかわることが出来ます。

やりがいと楽しさを糧に



足羽利生苑
2007年採用
介護員 前田 恵

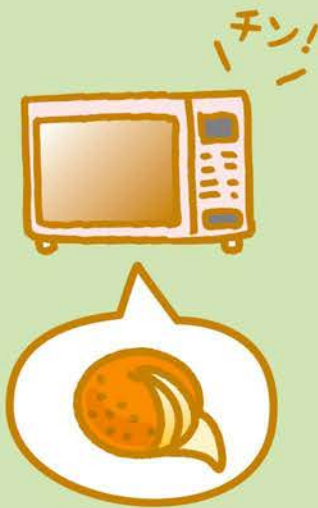
人生の先輩方から多くのことを学び、自身の成長につながっています。また、やりがいを感じる中で楽しみながら福祉の仕事に頑張ることが出来ます。



ちよつとひと工夫 〜香りを楽しむ〜

最近、芳香剤やアロマオイル、お香など本場にさまざまな香りがあります。皆さんは、生活にどのような香りを取り入れていますか？
香りを楽しむ一つのアイデアとして、掃除機のフィルターにアロマオイルを数滴落としておきます。
すると、掃除機が通った後にはいい香りが広がり、また部屋もきれいになります。
香りも、掃除も楽しむことができますよ。
“二石二鳥”ですよ。

★知恵袋★ 〜バツチリ臭い消し〜



皆さん、日ごろの生活の中で電子レンジを使うことがたくさんあると思います。でも電子レンジで、いろんな臭いが残ってしまいがちですね。
そんなときは、みかんを使えば簡単に臭いが取れるのです☆
方法は簡単！まずはみかんの皮を洗って、水気をよく拭き取ってからお皿にのせます。電子レンジで2〜3分加熱するだけで、嫌な臭いも消えてしまいます。レンジを掃除した後の仕上げにするのがお勧めです♪

思い出ポロポロ

今年、勤続20年を迎えた村西課長。この20年を振り返り、現在の心境を聴いてみました。

この20年間、利用者の方の笑顔と共に楽しかったことが思い出されます。
その中で「真剣に向き合うこと」「信頼関係を築くこと」「ありのままを受け入れること」など、人同士がかかわるための基本を多く学びました。それが私の人生の大きな財産となっています。

足羽更生園 課長 村西 真利栄



今でも恵子さんと仲良しです♪♪♪



20年前の恵子さんと私

体が温まる冬の一品



五目汁ビーフン

●材料(4人分)●

・ビーフン	60g	A	・清酒	20cc
・カニスティック	4本		・濃口醤油	24cc
・キャベツ	200g		・食塩	少々
・筍の水煮	80g		・白コショウ	少々
・人参	60g			
・水	1000cc			
・コンソメ	2個			

●作り方●

- 1、ビーフンは熱湯に約1分つけて戻す。
- 2、キャベツはざく切り、筍の水煮は薄切り、人参は半月切り、カニスティックはほぐす。
- 3、鍋に水・コンソメを入れて煮たてて、戻したビーフン、2を入れ火が通ったらAで調味する。

♪一言コメント♪

具たくさん汁物で、ビーフンの歯ごたえがあり、好評の一品です(*^_^*)

ホットケーキミックスで
簡単おやつ

メロンパン

●材料(6個分)●

・ホットケーキミックス	200g		
・サラダ油	40g	・グラニュー糖	適量
・卵	1個	・バニラオイル	少々

●作り方●

- 1、ビニール袋にホットケーキミックス、サラダ油、卵、バニラオイルを入れてモミモミします。
- 2、よく混ぜたら袋から出して、6等分に丸めて、表面にグラニュー糖をまぶす。
- 3、バターナイフなどで格子模様をつける。
- 4、180℃のオーブンで約15分、こんがり焼く。

♪一言コメント♪

保育園では5才児が食育活動で作りました。「サクサクしておいしい」と自画自賛。簡単にできるので、子どもさんと一緒に楽しくクッキングはいかがですか？

今後はライブ活動を行いたいと意欲的な小林さん。趣味の充実が仕事への活力にもなっているようです。活動的な小林さんに今後も大注目です。



まじめな性格の小林さんは職員だけでなく、利用者の方からも信頼されている存在です。そんな小林さんの特技は楽器の演奏！高校時代からベースを始め、昨年の夏にはロックバンドを結成し練習に励んでいます。



今回紹介するのは足羽利生苑に勤務している小林未侑さんです。

こんな人いますよ

平成24年8月1日から平成24年11月30日までのの方々を掲載させていただきました。

- 【足羽東保育園】**
(ボランティア・交流・訪問)
上文殊小学校 上文殊公民館 上文殊幼稚園 文殊公民館 東郷幼稚園 警察音楽隊 文殊幼稚園 福井市南消防署麻生津分遣所 ラポーゼ河和田 内水面総合センター 宮川定幸 籠谷悠世 嶋田朋子 三木崇 藤井涼帆 名和美絃 橋本聖也 橋本日 和 清水智子 渡辺彩友美
- (研修・実習・見学)
岩永華穂 木下真規子 足羽第一中学校 ハーモニーホール福井 和田ミニ交通公園 藤尾牧場 足羽山動物園
- 【足羽学園・足羽更生園】**
(寄付・寄贈)
(ボランティア・交流・訪問)
三井玲子 小林登代子 竹村勉 前田照美 中谷まゆみ 近藤善勝 梅田正 澤ユミ子 片山千代栄 大杉強 富田つや子 杉原幸司 結城千里 本田千代子 宮越大樹 福井すし研究会「越前会」キリスト教婦人部 錦古里珠美 細田美伶 中村直人 (研修・実習・見学)
大原スポーツ医療保育福祉専門学校 仁愛女子短期大学 関西国際大学 日本福祉大学 仁愛大学 福井県立大学 福井県医療福祉専門学校 花園大学 東海医療福祉専門学校

「足羽川ふれあいマラソン」について

平成24年3月をもって終了した「足羽川マラソン」が、当法人主催の「足羽川ふれあいマラソン」として継続することになりました。今後もアットホームで手作り感のある大会を目指して鋭意努力いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

理事長 高村昌裕

足羽川ふれあいマラソン

開催時期 平成25年3月24日(日)
コース 足羽川堤防沿い
ハーフ/10km/
5km/3km/
2km親子



Asuwa River Fureai Marathon
足羽川ふれあいマラソン

お問合せ先
足羽川ふれあいマラソン実行委員会(担当: 蟻塚)
電話 0776-41-3108 FAX 0776-41-3199

ホームページアドレス
http://www.asuwafukushikai.jp/fureai_marathon/

メールアドレス
marathon@asuwafukushikai.jp

- 【足羽ワークセンター】**
(寄付・寄贈)
マエダセイカ株式会社 渡辺冷凍食品株式会社 ヲスタウエルフーズ株式会社 大島早奏子 (ボランティア・交流・訪問)
高村智子 松原智子 畑節代 大島早奏子 大澤芳江 (研修・実習・見学)
福井県立福井南看護学校 福井県立嶺北看護学校 福井県立東看護学校 福井大学地域科学部付属特別支援学校 福井県立盲学校 福井県医療福祉専門学校 仁愛女子短期大学 仁愛大学
- 【愛全園】**
(寄付・寄贈)
みどり円山グリーンクラブ (ボランティア・交流・訪問)
啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボランティア 啓蒙民謡クラブ 福井市赤十字奉仕団 小木大正琴クラブ 斎藤さよ子 花亀会 山岡玲子 太田美代子 本多春子 奥村美枝子 中嶋安子 坂本幸子 熊谷三和子 鈴木陽子 福井県医療福祉専門学校 福長会 石川幹子 山下敏子 山下敬子 (研修・実習・見学)
福井県医療福祉専門学校 福井県警察学校 福井農林高等学校 福井県社会福祉協議会 京都府立大学 福井県新任職員 福井県立看護専門学校 進明中学校 大東中学校 仁愛大学 仁愛女子短期大学

編集後記

●簡単に作れるメロンパン1せび試してみてください。 大島(保)

●去年よりいろいろな面で前進するの、今年の目標です！ 江上(学)

●一歩、一歩ゆつくりと、でも確実に前に進みたい。 宮下(更)

●今年が自身、本厄にあたります。「柔和温順」を心がけ、穏やかな一年となるよう祈願します。 安田(本)

●新年を迎え、何事も根気よくへびのように長く続けることが目標です。 川縁(本)

足羽利生苑

(ボランティア・交流・訪問)
福井市赤十字奉仕団 松宮あさ子 児玉美子 丸山グループ まーまれーど美容室 宇都宮友美 美容室 倶楽部浜田 定兼絃美 本田幸雄 梯洋枝 宮浦幸子 すずらんの会 オカリーナポルテ 飛寄来の会 酒生幼稚園 まことコワフール (研修・実習・見学)
福井市医師会看護専門学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校 福井県立看護専門学校 福井大学医学部 成和中学校 福井県新任職員 福井県医療福祉専門学校 啓新高等学校 福井農林高等学校 福井県警察学校 福井県社会福祉協議会 足羽高等学校 道守高等学校 大原キャリアビジネス外語専門学校

順不同・敬称略

●毎日、笑って過ごせるといいですね。 吉野(つ)

●心にゆとりをもって、笑顔で過ごせる1年にしたいです。 長田(つ)

●寒さを吹き飛ばすくらい、ホットな「愛道」になればと思います。 瀧川(愛)

●今年の目標！料理と早起き頑張ります!! 前田(利)

●あつという間に新年ですね。今年はずっとりをもって過ごしたいと思えます。 本田(利)

発行所

社会福祉法人 足羽福祉会

足羽東保育園・足羽学園
足羽更生園・足羽ワークセンター
愛全園・足羽利生苑

〒910-2178 福井市榎野町20-7
TEL(0776)41-3108/FAX(0776)41-3199
<http://www.asuwafukushikai.jp/>
発行責任者 高村昌裕

※本年より機関誌「愛道」は年4回の発行となります。また今号から施設の取り組みは3事例ずつの掲載になります。皆様のご意見・感想をお待ちしております。

編集委員一同